

## 第1回検討会議における議論のポイント

### 中心市街地活性化の視点

#### 中心市街地・駅周辺の抱える課題

- ・駅周辺に関係のないものが集積している。交通結節点のポテンシャルが発揮されていない。
- ・周辺町村からの利用も多く、外からの利用も視野に入れていく必要がある。
- ・車を利用しない人達にとってはアクセスのための足がない。交通とまちづくりの視点も重要。

#### 中心市街地のまちづくりの方向性とスマイルビルの関係性

- ・ビルの活性化にとどまらず、地区全体の活性化の中でスマイルビルの役割を見出す必要がある。
- ・軸を中心にまちなかの回遊を如何に生み出すか、それと連動してスマイルビルがどうすべきか。

### スマイルビル検討の視点

#### スマイルビルの位置づけ・活用の考え方

- ・スマイルビルの活用之际して、滝川市の基本的なスタンスは無償寄付を受けるということ。
- ・市民アンケートを一つの材料としてビル再生の方向を浮き彫りにしていく。
- ・活用之际して、まず中心市街地の位置づけや今後の戦略を明確にし、その中で拠点となるスマイルビルを考えていく。
- ・まちづくりセンターを含め、行政として投資すべき案件が中心市街地にいくつかあり、かなりの投資になる。集約化等も視野にいれるべきではないか。
- ・活用の基本的な方向性もない中で議論するのは難しい。次世代に視点をおいて教育に特化して活用を考えるなど、基本的なスタンスが明確になっている必要があるのではないか。
- ・スマイルビルには行政としても支援してきた経緯があり、今後の活用に向けて単に税の滞納や老朽化に目を向けるのではなく、この場が持つ意味をもう一度確認し理解してもらうべきではないか。

#### 現状の課題（税の滞納等）への対応

- ・活用の方向性を具体化するためには、行政の財産となっていることが前提となる。
- ・滞納に対してストレートに差し押さえて、滝川市の力強い姿勢を見せるべきではないか。
- ・差し押さえた中で管理費は賄えても将来の修繕に向けた積立のストックは為されていない。
- ・差し押さえをしてこなかった理由についても明確に説明すべきだろう。

#### 活用検討のスキーム

- ・何か一つの方向性を導くのではなく、様々な選択肢を揃えていくこともこの委員会の出口として考えられる。